

「日切れ法」と 「つなぎ法」の効果

□ 「日切れ法」とは租税特別措置法などの時限立法の法規でその期限が切れて失効することになるものをいいます。失効を防ぐには期限延長を改正法案にして国会の承認を得なければなりません。それに対して、「つなぎ法」とは、正規の期限延長法案の承認に代えて、その正規の承認が得られるまでの暫定的な期間だけの延長につき国会承認を受けた法律です。

今 年の税制改正のニュースでは、この日切れ法とつなぎ法が話題になりました。3年前のねじれ国会の時も日切れ法とつなぎ法が話題になりましたが、そのときは何を日切れのまま放置し、何をつなぐかが選択されました。登

録免許税、輸入たばこや酒の軽課特例などが選択されてつながれ、道路特定財源といわれたガソリン税や軽油税など、それに交際費課税ほか多くが日切れのままでされました。

今 年は、政府が日切れのままにしようとしたものも含め、日切れとなる殆どの法律規定がつなぎ法に取り込まれました。3年前と異なり、日切れは殆ど避けられました。

つ つなぎ法により日切れの期間が暫定期間だけ延長となるのですが、たとえば、前年度まで廃止の予定だった即時全額償却のエネ革税制などは、暫定期間なお生き延びて、その期間内に適用資産の新たな取得があると、即時全額償却の恩典を受けられます。

また、別の例として、同じ廃止の予定だった試験研究に係る開発促進税制については、「…〇月〇日までに開始の事業年度…」という規定なので、つなぎの効果は1事業年度全体に亘ることになります。つなぎ法の効果の現れ方は二通りあるのです。

3 年前に日切れが起きた交際費課税も開始事業年度についての規定でした。3年前の日切れ法の交際費課税規定の場合は今回とは異なり、つなぎ法に取り込まれなかつたことにより日切れが放置され、法律が一時期失効していました。そうすると、その日切れの期間内に開始した事業年度については、不利益不遇の原則に照らしても、交際費課税をすることができない、ということになります。今後、ねじれ国会が常態になるとすると、こういう問題も日常化することになります。

8日立秋、23日処暑。
年、横浜・馬車道で高級菓子として登場しました。その頃の日本は、酷暑の日など道端に冷たい井戸水を用意し、道行く人に振舞う振舞水の習慣があり、見知らぬ人にも暖かい心遣いをしていました。親切でした。

き並ぶ 横良
省エネの八月です。冷たいものが欲しくなります。
アイスクリームは一八六九



一生を終えてのちに残るのは、われわれが集めたものではなくて、われわれが与えたものである。

(哲学者 ジエラール・シャンドリ)

8月の税務メモ

(国 税)

- 7月分源泉所得税の納付(特例適用者を除く)
- 6月決算法人の確定申告
- 12月決算法人の中間(予定)申告
- 個人事業者の消費税中間報告

(地方税)

- | | |
|-----|-------------------|
| 10日 | ○7月分個人住民税特別徴収分の納付 |
| 31日 | ○6月決算法人の確定申告 |
| " | ○12月決算法人の中間(予定)申告 |
| " | ○個人事業税の第1期分納付 |
| " | ○個人住民税の普通徴収第2期分納付 |
| " | ○個人事業者の地方消費税中間申告 |

★法人税予定納税額が10万円以下は申告省略です。